

# 東洋医学通信

<発行元>  
阪神中国医学研究所  
尼崎市長洲中通1-1-15  
<連絡先>  
06(6488)8149

## 未妊・不妊

不妊治療には、大きく分けて二つの方法があります。

一つは、薬や高度な医療技術を使って、ひとつずつ条件をクリアし、ゴールを目指す西洋医学。

もう一つは、人が本来持っている生きる力を引き出し、妊娠への自然な流れをスムーズに進めるよう、体の土台を育てていく東洋医学です。

この二つは、対立するものではありません。

もちろん、どちらか一方のアプローチで授かる方もいらっしゃいますが、不妊に悩まれている方の多くは、その両方の力を必要としています。

最先端の技術だけでは届かない「あと一步」のところを、生命力を底上げして、そっと後押しができる。それが、東洋医学の大きな強みです。

鍼灸では、妊娠に至るまでのデリケートなプロセスを、心と体が無理なく受け止められる状態に整える「体づくり」を第一に考えます。

東洋医学の視点では、不妊をただ生殖器だけの問題とは考えず、体内を巡るエネルギーである「気」や血液の流れ、水分代謝のバランス、そして熱や冷えの状態など、体全体のつながりや、普段のご様子などの背景を含めて診ていきます。

全身のバランスが整っていることは、健やかな体づくりに欠かせない要素です。排卵から受精、着床、そしてお腹の中で赤ちゃんを育み続けるという、いくつもの繊細なステップを滞りなく進めるためには、体の中に十分なエネルギーが満ち、それが正しく巡っていることがとても大切だからです。



しかし、現代の忙しい日々の中でのストレスや冷え、生活のリズムの乱れなどは、知らず知らずのうち体の土台を疲れさせてしまっています。また、西洋医学の治療自体も、強い薬を使ったり、時間に追われたりと、心と体に大きな負担がかかりがちです。

鍼灸は、そうした弱っている部分を補い、こわばりを解きほぐすことで、全身の巡りを整えていきます。これは、西洋医学での採卵や移植といった「点」の治療に対し、それを受け止める体という「面」を耕していくような作業です。どれほど素晴らしい技術を使っても、受け皿となる体が冷え切り、消耗した状態では、その力を十分に発揮することができません。

また、不妊は決して女性だけの問題ではありません。

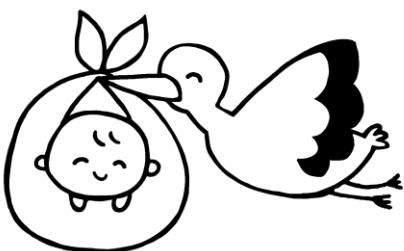
男性も、日々の疲れや睡眠不足、プレッシャーなどが生殖機能に影響を与えていることがよくあります。精子の数や運動率といった数値の背景には、全身の血流不足や内臓の疲れが隠れて

いることもあるのです。男性が鍼灸を受けることで自律神経が整うと、骨盤周りの血流が良くなり、精子の質の改善に繋がります。

妊娠という奇跡は、男女ともにそれぞれ体が調和して、初めて形になるものです。

最先端の西洋医学で可能性を灯し、東洋医学の鍼灸でその芽をしっかりと根付かせるための豊かな土壌を育てる。この両輪を揃えることで、心身への負担を減らし、納得のいく形で治療を進める選択肢が増えるはずですよ。

鍼灸は、心と体に寄り添い、結果として治療全体の成功率を底上げするための助けとなります。



鍼灸師 辻千嘉